

令和6年度 春日小学校

第2回学校運営協議会報告

◇日時 令和6年9月11日（水） 18:15～19:30

◇会場 図書室（2階）

1 開 会

- （1）挨拶 会長
- （2）挨拶 校長

2 議 事 （議長：会長）

- （1）1学期末学校評価について（教頭）

<成果>

◎【授業への集中】

児童アンケート②では、大きなポイントの上昇が見られた。

【分析】

ICTを活用しながら、子どもが「わくわく」しながら【ひと・もの・こと】とかかわる場面を意識的に設定してきたことが、授業への集中につながったと考えられる。また、教科書改訂に伴い、QRコードの活用場面が増えたことも要因の一つと考えられる。

【今後の取組】

- ・ 学年会でGIGA端末の活用について情報交換する時間を設ける。
- ・ 研修や終会を活用した「わくわく学び研修」を継続し、ICT活用の充実を図る。

◎【聴くこと】

児童アンケート③では、前期と比べてわずかながらポイントが上昇した。また、保護者アンケート③でもポイントの上昇が見られた。

【分析】

教育目標「よりよくかかわる」を意識した授業づくりが成果につながったと考えられる。かかわり方や活用するツールについて各教員が工夫しており、「公開授業」や「わくわく学び研修」を通して実践を共有し、授業改善につなげていく。

<課題>

△【授業前の準備】

児童アンケート①では約9割が肯定的な回答であったが、前回よりポイントが低下した。

【分析】

学びのスタンダードの徹底に職員間で差が見られる。

【今後の取組】

- ・ 「今月のめあて」を学年・学級ごとに設定し、重点的に取り組む。
- ・ 2学期は「授業前の準備」を重点項目とし、学年会で指導方法を共有しながら学年全体で取り組む。

△【家庭学習】

児童アンケート⑥ではポイントが低下した。一方、保護者アンケート⑤は上昇したが、「進んで」という文言を削除した影響も考えられる。

【分析】

基礎・基本の定着を図るため、ドリル教材の活用を継続する。また、児童の実態に応じた課題設定や家庭学習の工夫について検討する必要がある。

**【今後の取組】

- ・ 「宿題の出し方・取り組み方提案シート」に基づいて実践する。
- ・ 学年で教材や課題について情報共有し、学習意欲の差が広がらないよう配慮する。
- ・ 共有フォルダ内の「自学フォルダ」を活用し、自主学習の実践例を学年間・学級間で共有する。

3 今後の取組

(1)「わくわく」

子どもから生まれる思いを課題設定につなげる授業づくり【集中・学び】

- ・ 「知りたい」「分かりたい」「調べてみたい」という思いを課題につなげる授業を構想する。
- ・ 授業の山場を意識した課題設定を工夫する。
- ・ 「わくわくタイム(ミニ研修)」や学年会で教材研究を行い、日々の授業改善につなげる。
- ・ カリキュラム検討を通して教科横断的な学習を進める。

(2)「かかわり」

自己内対話・他者との対話を重視した授業づくり【話す・聞く】

- ・ 対象(ひと・もの・こと)とかかわりながら試行錯誤する場面を設定する。
- ・ 自分の考えを表現し、友達と対話しながら考えを深める授業を構想する。
- ・ ホワイトボードミーティング研修の成果を授業に生かす。
- ・ ワークシート、思考ツール、ICTの効果的な活用を工夫する。

(3)「深まり」

考えの深まりや変容を実感できる授業づくり【進歩】

- 「自分で考える→比較する→再構築する→振り返る」という学習過程を大切に
する。
- 「できた」「分かった」を言葉で表現する場面を設ける。
- 振り返りでは、学びの価値付けや次時への課題につながる内容を重視する。

家庭学習

- 各教科や生活科、総合的な学習で生まれた興味・関心を自主学習につなげる。
- 教師や児童の自主学習例を紹介するとともに、「自学フォルダ」を活用して家庭学習の充実を図る。

(2) 2学期以降の支援要望について（教頭）

(3) その他

- ・ 今後の教育活動について
- ・ 次年度の委員について

3 連絡事項

(1) 今後の学校運営協議会の日程について（予定）

- ・ 春日中学校区三校合同学校運営協議会（12月上旬予定）
- ・ 第3回…令和7年2月13日（木）午後6時15分～7時45分

(2) その他

4 閉 会

挨拶 （事務局長）